

栗山町まちづくり懇談会 議事録

日時：令和4年11月4日（金）10：00～11：41

場所：日出生活館

出席者：13人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 懇談

- (1) 第7次総合計画の策定について
- (2) 自由懇談

4. その他

○空き家相談窓口チラシ参照

5. 閉会

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：日出生活館の改築のタイムスケジュールはどうなっているのかと他に2点あります。

1点目が日出地域の新規就農者がここ数年増えてきています。新規就農者の方は北海道に覚悟を持って来ました。全員がうまくいっているわけではなく、苦勞している方もいます。産業振興課の方々にこれからもフォローをしてほしいというお願いです。もう1点が地球温暖化対策ですが後で私の資料を配りますのでそれを読んでいただいて対策の方に反映して頂ければありがたいです。

副町長：日出生活館改築に関わる今後のスケジュールになりますが、今計画原案の中で予定していますのは、令和5年度に改築に関わる地元協議をさせていただき、6年度に改築の設計、7年度に建物の方の工事ということで計画しております。

町長：日出地域には多くの新規就農者が入っていただいております。振興公社中心に国や町の制度を活用しながら充分とは言えないかもしれませんが、支援をさせていただいております。今後も引き続きご要望などを取りまとめながら進めて行きたいと考えております。

地球温暖化の関係ですが、3年ほど前から事務事業編ということで役場の中で温暖化計画

を作りまして、基準年の 2013 年から目標年の 2030 年まで二酸化炭素の排出を 46%削減するという目標を立てて、現状は 11%しか削減できていません。今後は区域政策編と言って町全体での計画を作っていきますので皆さんの意見を取り入れながら作成していきたいと思っております。

町民：人口減少を和らげるということでそれに対して一番効果的なのは外から人が入ってくるのだと思いますが、現状栗山町に興味を持っている人が少ないというのが問題なのかそれとも来てもサポートできる体制がないというのが問題なのかどちらなのか。あるいは両方なのか。

私自身、栗山町を周知することに力を入れるといいと思います。

若者定住推進課長：若者シティブロモーションという宣伝プランを立てまして、その中で情報発信の強化をやってきました。イベントやクリエイトするまち栗山町ということでものづくりをする作家さん、栗山監督、バービーさんなど栗山のことを宣伝してくださっています。また、SNS での情報発信にも力を入れていますので栗山町の認知度は上がっていると思います。コロナ禍で移住の相談が増えております。空き家を求めている人が相談に来たりしますが、来るまでに至らないという形です。ですがここ最近は実際に来られる方も増えていまして農業関係に興味があるという人も増えていきます。ただその受け皿がたくさんあるわけではないので難しいですが情報発信が足りないというわけではなくて情報が届いてほしい人に届いていないというのはあるかもしれないです。それと栗山が気に入ってくれた方に住んでいただきたいというのがありますので、補助制度がよくなったから来るのではなく気に入ったから来るという人に来てもらいたいと思っています。

町長：栗山のファンを増やしながらもっともっと周知していきたいと思っています。栗山と言ったらみんなが分かるように、移住の政策などをもっと強化していきたいと思っております。

町民：生活館の改築の場所はどのように考えていますか。現在の建物は豪華な設備がありますが、改築時にはコンパクトな形でお願いしたいと思っています。また、可能であれば改築ではなくて建て替えでお願いしたいです。

町長：改築検討議会で皆さんとの協議の中で検討していきたいと思っています。建物もコンパクトで皆さんが使いやすくなるように考えていきたいと思っています。

町民：道道 3 号線にあった山の木が伐採されています。植樹などで森を再生させる支援策を考えてほしいと思っています。

町長：今はただ伐採するという許可はおりませんので、伐採したら再生するという計画を出して認可されておりますので、これから再生されていくと思います。

町民：日赤の改築と共に医療環境の変えるチャンスにあると思います。私は今恵庭、千歳、岩見沢、栗山の 4 つの病院に掛かっていまして、都度 MRI を撮っています。カルテを共有化することで患者の経過を把握することができるようになるという話を聞いたことがあります。今回建て替えにあたって他病院との連携を取る予定はありますか。

町長：ご意見として持ち帰らせていただき後ほど回答させていただきます。

町民：旧井澤商店が空き家になっていて、その屋根の雪が落ちてきて道路が塞がってしまうことがあって近隣の住民が困っているのが現状です。空き家対策の中で危険を伴う空き家を町で家主に安全対策の考慮をお願いしてもらいたいです。

建設総括：以前からも問い合わせがあり、パトロールをしています。その他にも町民からの連絡や担当課の見回りで危険な建物がある場合は家主に連絡を取っています。また、今後危険な建物がある場合は連絡頂きたいと思います。

若者定住推進課長：これから空き家所有者の方に情報提供をして空き家がひどい状態になる前に町内の空き家を探していきたいと思っております。

町民：空き家の解体の補助で倉庫や納屋などは対象外になりますか？

建設総括：そうです。住宅に使われていた部分は対象になりますが、車庫や倉庫などは対象にはなっていません。

町長：昨日も納屋などを対象にしてほしいというご意見がありまして、今後検討していきたいと思っております。

11：41 終了